

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	高知県指定 第3972500551号
法人名	医療法人 社団 若鮎
事業所名	グループホーム里山うらら
訪問調査日	平成 19年 6月 13日
評価確定日	平成 19年 8月 23日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 7月20日

【評価実施概要】

事業所番号	高知県指定 第3972500551号
法人名	医療法人 社団 若鮎
事業所名	グループホーム里山うらら
所在地 (電話番号)	高知県高岡郡越知町越知甲283-1 (電話) 0889-26-1090

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知県高知市朝倉戊375-1		
訪問調査日	平成19年6月13日	評価確定日	平成19年8月23日

【情報提供票より】(19年 5月 1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 16年 7月 6日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 8 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 11.6 人	

(2)建物概要

建物形態	単独	改築
建物構造	鉄骨造り	
	2階建て	1階 ~ 2階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,900 円	その他の経費(月額)	49,910 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(5月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	9 名	要介護4	4 名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 86 歳	最低 78 歳	最高 99 歳		

(5)協力医療機関

協力医療機関名	北島病院・古味歯科診療所	2
---------	--------------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>事業母体が医療法人であり、この地域の中核的な役割を担っている。そのひとつとしてグループホームを運営されており、利用者も町内の方が多い。</p> <p>医療法人と一体となった取組みをされており、職員のさりげない介護においても安定感を感じ、利用者も穏やかである。</p> <p>理念にもある時代に先駆けた取組みを職員全員が常に心がけたサービスが行われており、今後に期待がもてるホームである。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前は、地域との関係が希薄であったが、現在では、地域の高齢者と一緒に定期的に体操を行うなど交流が持っている。また介護計画においては個別の特徴をつかんだ計画に改善している。前回の課題を職員全員で検討し改善が図られている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者、管理者は自己評価の必要性を理解されており、各項目について具体的な説明がなされている。2ユニットを1つのグループホームととらえ自己評価されているが、各ユニットに特色があるので、個々に評価する必要がある。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的開催され、県指導監査による指摘事項などを議題として、町・家族代表などと協議がされている。また、協議検討されたことを改善に繋げている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族へは定期的(毎月1回)に便りの中に利用者の近況と写真などを添えて郵送している。その書面の中に家族からの希望や意見を書いていただく欄を設けたり、面会時に話し合った課題の整理をし、それに向けた対応に努力されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域への行事には積極的に参加しており、地域清掃、毎週定期的に開催される体操を地域の高齢者と一緒に行うなど交流も深まっている。また近所には幼稚園もあり、窓越しに朝夕の挨拶などを通して児童との繋がりも徐々にできている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔事業主体である医療法人の掲げた理念と同一であり、独自のものではない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 〔当初から地域との連携を念頭にした内容で特段見直しを必要とせず、安心した暮らしを地域の中で継続できる具体的な理念となっている。〕	○	医療法人の掲げた理念をそのまま利用するのではなく、グループホーム独自の表現で理念を掲げることが望ましい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔毎朝、理念を個々に復唱したり、ミーティング時や職員会では話し合いを持ち、日々取り組んでいるので職員には意識づけがされている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 〔日々、心を大切に言葉遣いにも気をつけ利用者に関わり、また地域の方々との交流の重要性も認識し、地域の行事等を全職員が把握し利用者に反映するよう努力している。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔地区長が広報紙を持参して訪問をいただいていることにより、地域の情報は抜き取りなく知ることができており、清掃やその他の地域活動にも積極的に参加している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 [改善すべき自己評価について取り組む優先順位をつけ、全職員が評価についての意見交換をするなどして、意義を理解し改善に取り組んでいる。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 []		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 [評価の報告だけではなく、課題についての対応記録を提示し、利用者の生活の質の向上につながる会議になるよう取り組んでいる。]		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 [行政職員とは、定期的に情報を共有する機会を設けている。また利用者の誕生会にも招待をしている。]		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 [面会時には、家族の居心地のよい雰囲気づくりなどに配慮しながら、近況の情報伝達や話し合いをしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 [メッセージカード(利用者の近況や写真などを添えて)を毎月送付している。また紙面には家族からの要望も伺える欄をもうけている。] <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について、使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 [面会の際や事業所からの定期的な事務郵便物に添付するなどして定期的に報告をしている。また出納簿、領収書などに家族の確認印が押されている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族会時など、苦情や意見があまり出ない。事業所からの発言程度になっている。〕 <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔意見箱を設けたりしているが意見が出てこない。面会時などの際の意見などには職員間で話し合っただけで対応している。〕	○	家族会では、事業所側が席を外す時間を設け、家族のみによる話し合いができるなどの工夫を期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔開設以来、離職者は最小限に抑えられており、異動は職員の希望がある時のみ検討している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 〔止むなく職員が異動する場合は、利用者・家族にも説明されるなどして、スムーズに交代できるように配慮している。〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔法人本部での定期的な研修会を始め、職場内外の研修の情報は事務長から管理者・職員全員に知らされるが、年間の研修計画などは作成されていない。〕 <input type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔月1回の職員会や法人本部での研修会の際に報告しているが、研修受講者の報告書は十分なものとは言えず、研修内容を全員が共有できているとは言い難い。〕	○	研修会で配布されたレジュメ等のみによる報告だけではなく、研修内容を報告書にまとめ、報告会に参加できなかった職員にも伝えることができるようにするなどの工夫を期待する。また研修の年間計画の作成も望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔高知県宅老所グループホーム連絡会に加入し、県・全国大会等にも出席し、サービスの質の向上につなげている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔新設グループホームからの視察を受け入れたり、近隣のホームとも交流がある。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<input type="checkbox"/> 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 [入居の際には基本情報を収集するとともに、日常的に家族や利用者から情報を得ている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 [入居の際には、試し期間を必ず設け、他の利用者と一緒に食事をしたり会話をするなど体験を実施している。] <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 []		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<input type="checkbox"/> 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 [利用者の生活歴を把握した上で、その方の得意分野を知り、職員は教わる姿勢で対応しているが、実際に教わることが多い。] <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 [食事の下ごしらえ、配膳・下膳など職員と利用者が自然に一緒になって行っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 [ホーム菜園では、農業経験者の意見や知識をもとに作業を行い、作業の楽しさや収穫の喜びを共感している。]		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<input type="checkbox"/> 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 [日常的に利用者のやりたい事などの希望を伺うよう心がけ、行きつけの美容院へ行ったり、買い物に出かけて刺身などを買ってくるなど、柔軟な対応をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 [利用者本人からも話し合っ中新たな情報をえている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 [家族からの要望も反映されたことはあるが、介護計画作成の中で、計画性に基づいた個人記録は重要なものであるが、利用者の変化などを捉えたものとは言い難く活用しにくいものとなっている。] <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 [各々定例の会を持っており、職員間での話し合いが持たれている。]	<input type="radio"/>	業務日誌、個別記録、介護計画、事故報告書などの記録に繋がりがみられないため、職員間の情報の共有と認識が難しい。書類等の関連性や記載についての検討を望む。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 [] <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 []		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活の継続ができるように努めている。 [] <input type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [法人本部である病院で対応している。] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 [法人本部の協力もあり、通院などの送迎を行っている。利用者の希望で墓参りや行きつけの美容院への送迎も行っている。]		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 [病院、ホーム、家族間で共有ができています。]		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 [法人本部で対応している。] <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるよう取り組んでいる。 [終末期のあり方について、家族の意向も聞き職員間では共通の認識を持っている。]	<input type="radio"/>	法人本部である病院での対応が主体ではあるが、今後、本人・家族からの希望がでる場合を想定し、終末期の対応マニュアルなどを事前に準備することが求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔 〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔行事予定はあるが、状況により、その日その時にケースバイケースで柔軟な対応をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔利用者のペースに合わせ柔軟に対応している。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔「美味しい食事、づくりに特に力を入れている。食材の下ごしらえや配膳、下膳も自然に利用者で行っていた。調理場でも利用者と職員が肩を並べて食事作りをしている姿があった。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助に止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔食事は一緒に取っており、毎食の記録もある。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔利用者の状態にあわせ本人の希望も含め対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 [入居時の情報、その後に把握したこと、家族からの情報で得た生活歴から、利用者の楽しみを把握している。] <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出す働きかけを行っている。 []		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 [] <input type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 [法人本部のバスを活用し、外出の機会を増やしている。] <input type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 [週2回の散歩。法人本部へのリハビリ(週数回)などを希望して出かけられる方以外は、日常的に外出されているとは言いがたい。]	○	歩行困難な利用者等も地域の方とのふれあいの時間や気分転換が出来る機会を増やしていくことが求められる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 [無断外出される方についての行動パターンを把握され、声かけや付添いなど適切に対応している。] <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 [利用者も近所との交流があり、地域の方からの声掛けもある。]		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 []	○	近隣住民との協力体制を築き、日中と夜間の避難体制を地域と一緒に考える機会を持つことが重要である。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔毎食の摂取量、水分量ともにチェック表に記録し、摂取量は把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔毎食汁物をつけて水分補給に配慮したり、利用者の希望を採り入れるなど、利用者に美味しく喜んでいただけることを第一に考えて食事作りをしている。〕 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔法人本部の栄養士に献立表を提出しているがコメントはもらっていない。〕	○	法人本部の栄養士に定期的に献立表を提出することにより、栄養バランスや高齢者の栄養摂取量についてアドバイスをもらい、献立に反映させることが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔調度品、テーブル、ソファなどの配置にも配慮されている。〕 <input type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔製作品、写真などが廊下に飾られていたが、数が多過ぎ、落ち着きやゆったり感といった家庭的な雰囲気を損ねている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔台所から聞こえる音、匂い、周囲の風景などから五感が刺激され、居心地よいものとなっている。〕	○	ユニット入口に病院用の仕切りが使われていて、違和感があった。空間を家庭的な雰囲気で包むような物品を設置するなどの配慮を期待する。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔各居室には、家から持ち込まれた物品が少ない利用者もいるが、小物や写真を置くなど工夫がされている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔ベッドの頭側に多くの鍵フックを取り付け、その方の大切なものを見失わず手の届くように工夫されるなどの配慮が見られた。〕	○	家族には入居後も折に触れ馴染みの物品を持ってきていただくように働きかけられることを期待する。